

『ツキノワグマの生態と 地域ぐるみのクマ被害防除 ー岩手のある集落のチャレンジー』

場所 岩手大学農学部附属農業教育資料館 2階講堂
(盛岡市上田三丁目18-8)

日時 2025年10月5日 (日)

午後12時半
午後1時

午後3時

受付開始
館長挨拶：出口善隆 教授 (資料館 館長)
講演：青井俊樹 氏 (岩手大学名誉教授)
閉会



■対象
岩手大学学生・大学院生、
教職員、一般市民

■費用
参加費・入館料ともに無料

■定員
申込者優先、先着100名
※座席に余裕がある場合に限り、
当日参加も受け付けます。

申込み：9月30日（火）までにメール又はお電話にてお申込みください。
電子メール：asomu@iwate-u.ac.jp ※タイトルを「資料館企画申込」とし
『①代表者氏名、②よみがな、③人数、④連絡先電話番号』をご記入ください。
TEL：019-621-6103（平日9時～17時）

担当：岩手大学農学系事務部

講演『ツキノワグマの生態と 地域ぐるみのクマ被害防除 ー岩手のある集落のチャレンジー』

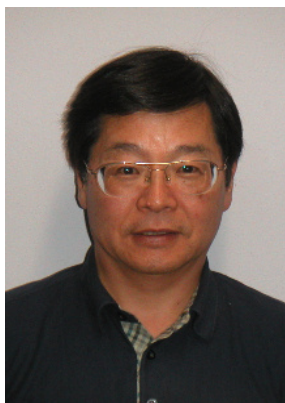


講演概要

昨今、人里への出没や人身被害が深刻になっているツキノワグマ。
しかしその生態の正しい理解はまだ必ずしも進んでいない。
そこで今回は一般に流布している“ツキノワグマあるある”を取り上げ、その正否を
検証してみるとともに、ツキノワグマ被害に悩まされていた岩手県のある集落が、
民・官・学協同でクマ対策に立ちあがって成果を上げた例を紹介する。

講演者プロフィール

青井 俊樹（あおい としき）氏



昭和45年 北海道大学農学部入学、以降一貫してヒグマの研究に従事
昭和55年 北海道大学農学部付属天塩演習林助手
平成元年 北海道大学農学部付属和歌山演習林助教授
平成6年 北海道大学農学部附属苫小牧演習林林長
平成12年 岩手大学農学部教授、以後一貫して東北地方のクマほか
野生動物の生態及び人との共生に関する研究に従事
平成19年 クマ被害がひどかった盛岡市猪去地区にて地域住民と協働による
クマ被害防除活動（クマの出にくい里作り活動）を開始
現在も継続中
平成28年 岩手大学定年退職、現名誉教授 現在も東北各地において
シカ、クマなどによる被害防除活動を地域住民と共に実施
平成29年 上述の猪去地区の活動が、農水省の「平成28年度、鳥獣被害対策優良活動表彰」
に選ばれる

主な著書：北の森にヒグマを追って（大日本図書）、ヒグマの原野（フレーベル館）、
日本のクマ（共著、東京大学出版）ほか多数

農業教育資料館（国重要文化財）



1902年(明治35年)にわが国最初の高等農林学校として
設置された「盛岡高等農林学校(現・岩手大学農学部)」
の本館として、1912年（大正元年）竣工。宮沢賢治も
ここで学びました。
館内には賢治に関する資料も多数展示しています。

資料館に関するお問合せ
TEL&FAX :019-621-6678 メール shiryo@iwate-u.ac.jp